

四季の風

■発行責任者／病院長 曾根 孝仁
■編集／大垣市民病院広報誌編集委員会



広報 第40号

・発行 平成24年10月1日・

理念

患者中心の医療 良質な医療の提供

大垣市民病院臨床研修の理念

- ◎社会人としての規律を守り、医師として思いやりのある人格を涵養する。
- ◎プライマリ・ケアに必要な幅広い診療能力を修得する。
- ◎チーム医療の一員として、安全・安心・満足の得られる患者中心の良質な全人的医療を実践する。

当院は、臨床研修病院に指定されており、次世代の医師育成のため、上級医の指導のもと研修医の臨床研修及び学生の臨床実習を行っています。



(愛知県 足助町)

まず、お子様がアレルギー素因をもつているかどうかを確認してください。ご両親が喘息の場合の発病リスクは3倍、小児期では男児に多いことがわかつています。また血液検査でIgE値が高いかどうかを参考になります。これらのリスク因子をもっている人を発症させない試みがなされました。予防する方法はまだ十分わかつていません。例えば、授乳中の母親と児の食事制限は、発症予防の効果はなくお勧めできません。一方、妊娠中および出生後のかたこの煙からの回避は、喘息の発症頻度を減少させる研究データが多く、強く推奨されています。

ダニ、ほこりなどのアレルゲン対策も重要です。ダニの至適発育条件は、室温25度、湿度75%前後といわれており、室内の通気をよくするなど、湿度の上昇を抑える工夫が大切です。

このように、発症予知や悪化因子は様々で、まさに個別の対応が求められます。お子様がどのタイプに当てはまるかを確認した上で、かかりつけ医に相談されると良いでしょう。

気管支喘息とは、気管支が狭くなり、咳やゼーゼーする症状が繰り返しある病気で、個体要因と環境要因が複雑に絡み合って発症します。喘息の発症、増悪にかかる因子は様々で、個別にきめ細かく対応することが重要です。

まず、お子様がアレルギー素因をもつているかどうかを確認してください。ご両親

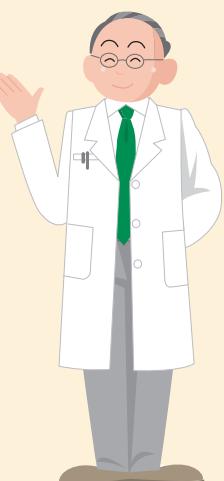
が喘息の場合の発病リスクは3倍、小児期では男児に多いことがわかつています。また血液検査でIgE値が高いかどうかを参考になります。これらのリスク因子をもっている人を発症させない試みがなされました。予防する方法はまだ十分わかつていません。例えば、授乳中の母親と児の食事制限は、発症予防の効果はなくお勧めできません。一方、妊娠中および出生後のかたこの煙からの回避は、喘息の発症頻度を減少させる研究データが多く、強く推奨されています。

子どもの喘息の 予防と対策について

小児科 藤井 秀比古

診療部

専門医が教える家庭の医学



特集

血管専門検査室について

循環器内科 上杉 道伯

～はじめに～

近年、食生活の欧米化による糖尿病、脂質異常症等の生活习惯病が増加しています。これらは適切に対処しなければ、将来的に動脈硬化を進め血管の狭窄、閉塞をきたし下肢閉塞性動脈硬化症から足壊疽、脳卒中といった動脈硬化性疾患を発症させる可能性があります。また一人の方が複数の動脈硬化性疾患を合併することが少なくなく、生命に影響を与えるかねないため、動脈硬化は早期診断とともに、全身の血管の状態を調べる事が重要となります。

現在、医療機器の進歩による全身の血管の詳細な診断が、無侵襲に可能となりました。検査対象としては動脈、静脈、リンパ管といった脈管全般となります。代表的な疾患としては、下肢閉塞性動脈硬化症や深部静脈血栓症（エコノミークラス症候群）などがあります。

現在、当院では血管疾患に対する検査は、多数の部署に分かれています。複数の分野に疾患がまたぐ場合、診断、治療への妨げになつていていたのが現状です。血管専門検査室では、それらの部署を統合させ、最新の検査機器を集約させました。さらに、血管疾患に熟知した専門の血管診療技師の資格を有した職員を配置し、血管疾患の診断にあたります。検査の効率化だけでなく、血管専門医である日本脈管学会専門医も協力し、総合的に血管疾患に対しても迅速に対応することができます。

～血管専門検査室とは～

循環器内科 上杉 道伯

近年、食生活の欧米化による糖尿病、脂質異常症等の生活习惯病が増加しています。これらは適切に対処しなければ、将来的に動脈硬化を進め血管の狭窄、閉塞をきたし下肢閉塞性動脈硬化症から足壊疽、脳卒中といった動脈硬化性疾患を発症させる可能性があります。また一人の方が複数の動脈硬化性疾患を合併することが少なくなく、生命に影響を与えるかねないため、動脈硬化は早期診断とともに、全身の血管の状態を調べる事が重要となります。

③血管超音波診断装置

おもに下肢の皮膚の微小循環を評価する目的で行われます。糖尿病の方の皮膚潰瘍の治癒予測等に利用されます。



最近は人間ドックでも行われることが多くなった検査です。手と足の血圧を同時に計測することにより、足の動脈の血液の流れを測定します。また動脈の硬さも評価できます。

②レーザードップラー診断装置



当院では、最新鋭の血管専用の超音波診断装置が導入されています。四肢血管、頸動脈、大動脈等、ほぼ全身の血管が検査対象になります。身体への負担をかけることなく検査が可能です。例えば頸動脈の検査では、動脈壁の厚さを測定することにより、動脈硬化の進展具合や、脳梗塞の原因となる頸動脈狭窄の診断をすることができます。また大動脈瘤や下肢深部静脈血栓症（エコノミークラス症候群）の診断も可能です。

④血管内皮機能測定(FMD)

血管内皮機能障害は、動脈硬化の変化が起きる前段階から出現します。血管内皮機能測定を行うことにより、動脈硬化を早期に評価可能となります。

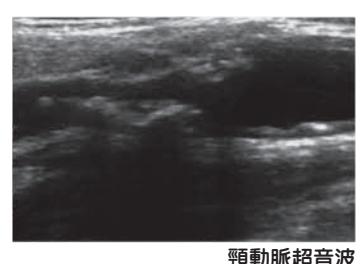
～おわりに～

下肢動脈硬化性創傷の増加から、10月より毎週木曜日に形成外科外来にて足病変専門の創傷治癒外来が新たに開設されます。血管専門検査室は、創傷治癒外来に隣接して設置され、外来と連携して診療に当たります。また、各科外来にかかる方で、動脈硬化が心配で検査を御希望の方は、循環器内科の動脈硬化外来にて承りますので循環器内科（内線2121）までご連絡ください。

頸動脈狭窄症の一例



頸動脈造影

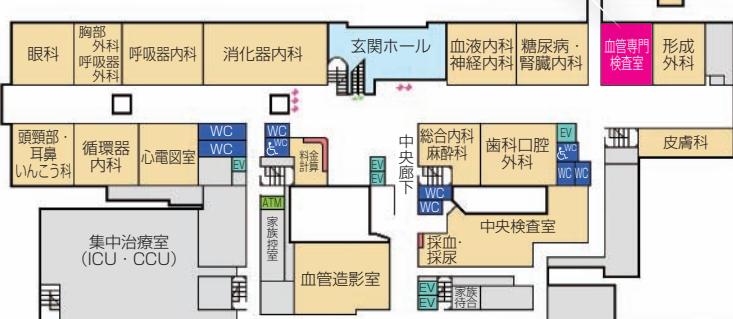


頸動脈超音波



〈血管専門検査室の場所〉

1病棟2階





当院の心臓病食は心臓への負担を減らすことを目的に、味付けは塩分6 g以下の薄味とし、野菜は1日350 g以上を目標に栄養バランスのとれた食事を提供しています。

～調理の工夫～

- 1日の塩分を6 g以下にするには、1食あたり2 g以下に抑える必要があります。塩分が多く入っている食品の利用は、知らず知らずに塩分の摂りすぎに繋がるため控えています（梅干、漬物、佃煮、干物、汁物など）。
- 塩分を控えながら美味しく食べて頂くため、塩分の少ない調味料（減塩醤油、ノンオイルドレッシング、ケチャップなど）を利用しています。レモン果汁、酢で酸味を出すことや、だしや香味野菜、香辛料の味を利かせています。



健 康
ひとことアドバイス
(栄養士)

心臓病食のご紹介

- 肉の脂身や天ぷら、フライを控えることで、体重の増加とコレステロールの増加を防ぎ、焼く・煮る・蒸すなどで油の少ない料理法を取り入れています。
- 野菜、果物、海藻などに多く含まれている「カリウム」は、体内的塩分（ナトリウム）を排出する働きがあるため、野菜は毎食豊富に取り入れ、果物を適宜取り入れています。

～食べ方～

- 早食いは食べ過ぎに繋がるため、食事はゆっくりよく噛みましょう。
- 食品の偏りがなく、主食（ご飯）、主菜（魚、赤身肉、卵、豆腐）、副菜（野菜）を毎食そろそろと食べましょう。
- 神経の興奮を高め、心臓の拍動を強めるカフェイン飲料は少量に控えましょう。

随時、当院の管理栄養士が栄養指導を行っています。食事療法のことや疑問に思つて、気になることがありますら、主治医にご相談ください。

アトピー性皮膚炎について知ろう

アトピー性皮膚炎は、アトピー

素因のある人に生じる慢性的な皮膚の湿疹病変です。治療の基本は、「原因・悪化因子の除去」、「スキンケア」、「薬物療法」の3つです。ステロイド外用薬などの薬物療法は、症状をおさえる対症療法です。アトピーの原因そのものを治すことはできません。



III 薬効別シリーズ III

アトピー性皮膚炎について知ろう

ステロイド外用薬

アルメタ、メサデルム、リンテロンなど皮膚の炎症をしのぎ、赤みや腫れをとる作用があります。ステロイド外用薬は強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

い分けます。乳幼児ではステ

ロイドの効果が成人より良いので、重症

と中等症では成人に使用するステロイ

ドよりも低く効き薬剤を使用します。

強さにより、5段階に分類されます。

「最強 (strongest)」、非常に強力 (very strong)、強力 (strong)、中程度 (medium)、弱い (weak)」こ

れらを、症状や体の部位により適切に使

臨床倫理方針

1. 患者の人権を守り、自己決定権を尊重します。
 2. 患者中心の良質で高度かつ公平な医療を提供します。
 3. 患者への正確な情報提供と十分な説明を行い、患者同意のもとに信頼される医療を提供します。
 4. 他の医療機関での医師の意見を求める、セカンドオピニオンに対応いたします。
 5. 患者の個人情報の保護と守秘義務を徹底します。
 6. 関係法規、ガイドラインを遵守した医療を提供します。
 7. 生命の尊厳、医療の妥当性に関する問題については、臨床倫理委員会で審議し、治療方針を決定します。
- 当院では、以上7つの方針に基づき治療を行っています。

お知らせ

市民公開講座

演題：「血液データでわかる病気の話」
診療検査科 中央検査室係長 日比 敏男
日時：平成24年10月23日(火)
午後2時～午後3時
場所：管理棟5階 講堂
問い合わせ先：診療検査科 内線4521



よろず相談・地域連携課出前講座

テーマ：「在宅での食事について」
栄養が偏りがち、食欲がない、そんな時の食事の工夫を管理栄養士がわかりやすくお話しします。
日時：平成24年10月25日(木)
午後4時～午後5時
場所：3病棟2階 デイルーム
問い合わせ先：よろず相談・地域連携課
内線6178



岐阜県看護協会大垣支部 市民公開講座

テーマ：「認知症を理解しよう」
～認知症ってどんな病気？認知症に早く気づこう～
認知症看護認定看護師 鈴木 弥生
日時：平成24年11月3日(土)
午後1時～午後3時
場所：管理棟5階 講堂
問い合わせ先：救命救急センター 内線4516

糖尿病公開講演会

演題：「初心にかえってあらためて「糖尿病」を考える」
～全国糖尿病週間&世界糖尿病デー記念～
糖尿病腎臓内科医長 柴田 大河
日時：平成24年11月15日(木)
午後4時～午後5時
場所：管理棟5階 講堂
問い合わせ先：糖尿病腎臓内科 内線2101

4つの講座については、事前の予約は必要がなく、どなたでも無料で参加いただけますので、多数のご参加をお待ちしております。



看護師 隨時募集 保育所完備

○応募資格／採用時満55歳までの方
(准看護師は45歳までの方)
正職員：看護師免許取得者
パート：看護師または准看護師免許取得者
※正職員は夜勤も数回できる方
○勤務体制／外来または病棟勤務
○選考方法／書類選考および面接＊面接日などは後日連絡
○申し込み／看護師または准看護師免許証の写しと履歴書(写真添付)を大垣市民病院庶務課へ郵送またはご持参ください。
○問い合わせ先／〒503-8502 大垣市南郷町4丁目86番地
大垣市民病院 庶務課
☎0584-81-3341 内線6132・6133

※応募資格・勤務時間等の詳細な内容については、当院ホームページまたは上記の問い合わせ先までお尋ねください。採用者には、一定期間研修を行いますので、安心して働くことができます。たくさんのご応募おまちしております。



当院は敷地内全面禁煙です。ご理解、ご協力ください。

第17回 市民の健康広場

日時：平成24年10月14日(日)
午前10時～午後3時
場所：大垣城ホール



公開講演会

テーマ：「知っていますか？たばこ病」
～COPD(慢性閉塞性肺疾患)について～
呼吸器内科部長 安藤 守秀
時間：午前11時～



* 講演会以外に各種検診などを行っています。事前の予約は必要がありませんので、この機会に家族の健康状態をチェックしたり、役立つ知識を学んでみませんか。

（胸部レントゲン・血液検査・血圧測定・体脂肪測定・血液さらさらチェック・歯の健診・認知症予防コーナー・介護相談コーナーなど）

編集後記

「四季の風」40号をお届けしました。次回は1月1日に発行予定です。
「四季の風」では、今後とも多くの皆さまの声をお聞きしながら、読みやすい紙面づくりを目指してまいります。
ご意見、ご要望がございましたらお気軽に寄せください。

大垣市民病院広報誌編集委員会
〒503-8502 大垣市南郷町4丁目86番地
TEL (0584) 81-3341 FAX (0584) 75-5715
<http://www.omh.ogaki.gifu.jp/>
(電話でのお問い合わせについては、お間違いのないようお願いします)